

分析展 2010・事前登録受付を開始
——最大規模で開催！アジアのハブ展——

◇社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-10-1 電話 03-3292-0642 会長 堀場 厚=(株)堀場製作所代表取締役会長兼社長)が主催する分析展 2010 は、本年は科学機器展 2010 との合同展として9月1日(水)から3日(金)まで、幕張メッセ 4、5、6、7、8 の 5 ホールを使用して、「確かな技術で未来を分析」と「明日を拓く科学技術」というキャッチフレーズで開催されます。(10時～17時、入場無料) この合同展の入場事前登録が7月1日(木)からWEB上で開始されました。
(<http://www.jaimasis.jp/>)

スムーズな入場登録を実現するため、本年も事前のデジタル登録を奨励しています。

8月21日(土)までに入場事前登録いただきますと、バーコード付きの入場証と分析展オフィシャルガイドブックがお手元に届き、ご来場時にはその入場証を受付で読み込むだけの簡単な手続きで入場できます。また、期日までに事前登録されたご来場者のみの特典として、早期登録者限定の抽選会(1等1万円ギフト券)と図書券500円分が当たる抽選会に参加できるWチャンスとなりますので、ぜひ8月21日以前に事前登録をしてご来場いただきますようお願い致します。

昨年同様、事前送付された入場証や確認メールのプリントアウトをお忘れの方、或いは当日登録の方々の便宜をはかるため、それぞれ専用の受付カウンターを設け、かつ10数基のPCを受付けエリアに設置します。サポート要員も要所に配置し、全てのご来場者の皆様の入場登録がスムーズに行えるように計画しています。さらに JR 幕張本郷駅から海浜幕張経由、会場までのシャトルバスの増便や、お得な宿泊パックなどを用意し、ご来場者の利便性を図ります。

◇今回は科学機器展との合同展として開催され、過去最高の1348小間、442出展社・機関、新技術説明会も302テーマの規模となり、初めて幕張メッセの5つのホールを使用しての開催となります。出展社数は、昨年度に比し35%増となり、アジアのハブとなる分析・計測に関する総合展として規模、内容とも充実化がはかられました。理化学機器から物質の構造解析装置まで、文字通りの分析・科学機器/技術の入口から出口までの最新情報が発信されます。また、新生ベンチャー企業を対象にしたミニソリューションコーナーやカタログ展示コーナーの新設、さらに国際展示会としてすでに定着している各種国際イベントに加え、初めての開催となる Pittcon 主催の U.S シンポジウムなども行われます。

◇また本年は「国際生物多様性年」にあたり、二つの大きな無料セミナーが開催されます。

一つは、主として企業人を対象として、「接続可能社会への努力と活動」と題し、9月2日(木)に国際会議場で開催される特別講演会と特別セミナーで、副題は「人間ができる生物保護と低炭素社会への対応」です。自然と企業の関わりや太陽光発電の最新の研究動向などが語られます。

二つ目は、分析展で恒例となっている一般の方々を対象にするサイエンスセミナーです。本年は会期初日の9月1日(水)に隣接ホテルで、「クジラとカバは兄弟だった?」、「強いものは生き残れない?」という、それぞれ知識欲を刺激される興味深いテーマで開催されます。DNA 解析や、それに関する分析技術、生物の数の原理などを講演いただきます。例年、300人近い一般の方々に参加され、最先端科学と分析の関わりを分かり易くお話する内容は好評を博しています。

以上、分析展は科学機器展との合同展として新しく生まれかわって開催されます。

従来の分析展の好評を博していた部分はそのまま拡大継続しますし、合同展ならではの新しい試みやイベントも多く追加して、米国の Pittcon 展、欧州の Analytica 展と並ぶアジア最大の分析・計測に関する総合展となります。できるだけ多くの方々に新生分析展・科学機器展にご来場いただきますよう主催者一同一層の努力を傾注してまいります。

【お問い合わせ先】

● (社)日本分析機器工業会

2010 合同展事務局 事務局長 林(はやし)/小川(おがわ)

電話(03)3292-0642 まで、ご遠慮なくお問い合わせください。